2019年11月某日

差枚	+5枚	RANK	A

実戦機種

パチスロあの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。 ほか

実戦レポート

時折ハズすことはもちろんあるけれど、やはり新台（入替台）狙いはベースになる戦略だなと前回改めて実感したところで、すぐまたやってきた今回の実戦。今回のホールも、気になる狙い台が既にあるんですよねぇ。バラエティコーナーのいい位置へと加わった「パチスロあのはな」だ！ …これを読んでいるあなた、この1～2ヶ月でオレがあのはなを打った回数を覚えているか？ うむ、自分でも「またか」と思うほど登場頻度の高い機種だが、そろそろちゃんと「これぞ高設定！」という挙動を味わってみたいのだよ。

というわけで、抽選番号も「12番」とかなり良かったので、難なく狙い台をキープ。すると、最初の当りが「なかよしメーター5周期目の赤・直撃」！ これ、かなり設定差があるので今までずーっと意識してきたんだけど、1回も引けなかったやつなんだよね。続いて2回目、3回目の当りもレア役からの直撃で、高設定の期待は高まる一方！ だったのだが…。

今まで設定の手応えが無い台でも、なんだかんだATが伸びてまとまった枚数を獲得できたりしていたのに、こうして高設定の期待が高い時に限ってそれが上手くできない。単発終了からのごめんまボーナスも確認できず、ジリジリと投資だけが嵩んでいく…。
自分の読みに自信があったり、強気に攻められるような状況であれば、それでも続行できたんだろうけどな。結果から言うと、夕方ぐらいにはこの台を手放すことになったのだった。

しかし、ここからのリカバリーが腕の見せ所である！ 末尾の当り番号は「ほぼアレだな」というものが浮かび上がっているので、まずはその中で…いや、厳しいな。空き台になっているのはAT・ART機でかなり凹んでいるものばかりで、正直「まだあるだろ！」と発掘するのは危険すぎる。

ということで、目を付けたのはノーマルタイプ！ ジャグラーからハナビ、バーサス、果てはクランキーセレブレーションまで、プラスになる可能性がある台を片っ端から打ちまくると、ヒットしてくれたのは最後のクラセレ。さすが激甘スペックと言わざるを得ないボーナスの連チャンで、あのはなの負債をそっくり取り戻してくれたのだ。最後に引いたベルが決め手となり、＋5枚の辛勝！ …って、これ高設定とかじゃなく、ただクラセレが甘いだけじゃねぇか！ なのに、なぜA級なのか？ はい、実は高設定を打っていたんですよ。それも長時間。狙いバッチリ、あのはなはやっぱり高設定だったんですって。けっこう安定して出るって聞いてたのになぁ…。